

緑の基本計画

第二期行動計画

～平成 28 年度事業評価のまとめ～



評価シートの結果について

1 評価

稲城市自然環境保全審議会委員に5段階（◎、○、△、×、－）で評価していただいたものを点数化し、その平均値を四捨五入し判定します。評価の点数は次のとおりです。

◎＝3点、○＝2点、△＝1点、×＝0点、－＝－1点

※例えば、平均値が1.5点であれば2点となるので全体の評価は○になり、1.4点であれば1点となるので全体の評価は△となります。

2 評価理由

稲城市自然環境保全審議会委員からいただいたご意見をランダムに掲載しております。

目次

施策番号	施策名	担当課	◎	○	△	×	-	平均	総合評価
1-1	自然環境保全地域の指定・拡充	土木課	3	6	1			2.20	○
1-2	樹林地管理ボランティアの人材育成・組織化・活動支援	土木課			9	1		0.90	△
2-1	生態系や親水性に配慮した水辺空間の整備	土木課		10				2.00	○
2-1	生態系や親水性に配慮した水辺空間の整備	区画整理課					10	0.00	-
2-2	既成市街地での適切な公園配置方針の策定	土木課			9	1		0.90	△
2-3	借地公園制度の運用検討	土木課		2	8			1.20	△
2-4	身近な公園の再整備	土木課	2	8				2.20	○
2-5	公共施設の緑化	教育総務課		1	8	1		1.00	△
2-5	公共施設の緑化	指導課		5	5			1.50	○
2-5	公共施設の緑化	子育て支援課		9				2.00	○
2-5	公共施設の緑化	生涯学習課		9				2.00	○
2-5	公共施設の緑化	市民協働課		8	1			1.89	○
2-5	公共施設の緑化	健康課		7	2			1.78	○
2-5	公共施設の緑化	市立病院管理課	6	3				2.67	◎
2-5	公共施設の緑化	図書館課		7	2			1.78	○
2-6	自然樹形を感じさせる維持管理の検討	土木課			10			1.00	△
2-6	自然樹形を感じさせる維持管理の検討	管理課			9			1.00	△
3-1	土地区画整理事業による公園・緑地の整備	区画整理課		10				2.00	○
3-1	土地区画整理事業による公園・緑地の整備	市街地整備課			8	1		0.89	△
3-2	公共施設の緑化	教育総務課		1	9			1.10	△
3-3	地区計画区域の拡充と緑化率条例の検討	都市計画課					10	0.00	-
3-4	四季折々に楽しめる街路樹の整備	区画整理課					10	0.00	-
3-4	四季折々に楽しめる街路樹の整備	市街地整備課			8			1.00	△
4-1	駅前緑化プロジェクト	区画整理課		10				2.00	○
5-1	市民ボランティアの人材育成・組織化・活動支援	土木課			9	1		0.90	△
5-1	市民ボランティアの人材育成・組織化・活動支援	市街地整備課			9			1.00	△
5-2	各種普及啓発活動の実施	土木課		9				2.00	○
5-2	各種普及啓発活動の実施	指導課				8		0.00	×
5-2	各種普及啓発活動の実施	管理課		9				2.00	○
5-3	水と緑の情報収集・提供	土木課	1	8				2.11	○

評価シートの記入について

評価 (◎、○、△、×、-)	<p>5段階で評価してください。</p> <p>◎: 高く評価できる(目標を早期に達成できた、努力しているなど)</p> <p>○: 評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)</p> <p>△: やや評価できる(少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど)</p> <p>×: 評価できない(まったく進んでいないなど)</p> <p>-: 未評価(当該年度は着手時期ではない)</p>
平成28年度事業報告に対する意見	
<p>上段の評価をした理由を記入してください。</p>	

1.「緑の環」の保全活用プロジェクト

1-1 自然環境保全地域の指定・拡充

施策の展開方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「緑の環」を形成している多摩丘陵の斜面緑地は、市内のどこからでも目にすることができるなど、稲城の緑の骨格として緑豊かな稲城のイメージの源泉となっています。 ・市街地から見える景観的に重要な樹林地や谷戸沿いの樹林地、生物多様性が高い樹林地の保全を図るため、自然環境保全地域の指定・拡充を図り、景観や生物多様性の向上に努めます。
担当課	土木課
対象施設など	良好な民有樹林
平成23年度末の状況	10箇所 8.7ha
10年間の目標	18箇所 16.3haを保全地域に指定・拡充する。
展開手法など	・「稲城市における自然環境の保護と緑の回復に関する条例」に基づく、自然環境保全地域の指定

担当課別行動計画

担当課名	土木課	
第一期末の状況	2箇所 0.4ha(計12箇所 8.9ha)	
事業目標量	8箇所 7.6haを追加指定	
第二期事業量	平成26年度	稲城第一中学校西側の斜面緑地(0.9ha)の指定
	平成27年度	松の台南側の斜面緑地(0.4ha)の指定
	平成28年度	薄葉谷戸川東側の斜面緑地(2.4ha)の指定
第三期以降	<ul style="list-style-type: none"> ・第三期に駒沢学園北側の敷地内緑地(1.2ha)、駒沢学園西側の敷地内緑地(0.2ha)の指定を予定する。 ・第四期は必要に応じて追加指定についての検討 	
平成28年度事業報告		
事業目標	薄葉谷戸川東側の斜面緑地(2.4ha)の指定	
事業実績	六間台南側緑地(松の台南側の斜面緑地)(約0.4ha)の指定	
担当課評価 (◎、○、△、×、-)	○	
評価理由	平成27年度の事業目標に設定していたものを指定できたため。	
今後の対応	引き続き市内の良好な民有緑地確保のため、新規指定に努める。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民に親しまれるためには、その所在地は明確であるべき。呼称の起点が面である場合は、東西南北の4方位のみならず8方位も検討するなどの工夫が必要であろう。 ・27年度の事業目標を達成していること、加えて、追加指定についての検討意欲が強いことは高評価に値する。 ・前年度に指定見送り・代替指定があったことが目標に反映されてなく、結果として遅延の実績が遺された。また、見送られた緑地の規模の違いも考慮する必要がある。また、評価欄用として指定されているコメント文に照らせば、遅れは遅れとして評価に取り込むことが必要。 ・地権者との地道な努力が評価できる。 ・平成27年度の事業目標の予定地であったが指定にはこぎつめた。 ・ひらお苑北側緑地が、地主の事情で形状が変わっても面積も減ることなく継続維持出来たことの実績は評価出来ると思う。民有緑地確保は緑の稲城のイメージ確保に有効である。 ・毎年確実に指定実現している。関係者の努力に感謝する。 	

1.「緑の環」の保全活用プロジェクト

1-2 樹林地管理ボランティアの人材育成・組織化・活動支援

施策の展開方針	・市街地から見える景観的に重要な樹林地や谷戸沿いの樹林地、生物多様性が高い樹林地の保全を図るため、指定された自然環境保全地域の樹林地の育成管理を行う、樹林地管理ボランティアの人材育成・組織化・活動支援を行います。
担当課	土木課
対象施設など	穴澤天神社・よみうりランド北側緑地
平成23年度末の状況	【新規】
10年間の目標	・2箇所 1団体(第一期段階) ・第二期以降に、実施箇所の追加の検討
展開手法など	・穴澤天神社・よみうりランド北側緑地に隣接する、川崎市の小沢城址特別緑地保全地区では、既にボランティアによる樹林地管理が行われている。このボランティア団体と連携を図りながら、稲城市側でも樹林地管理ボランティアを組織化していく。 ・他の樹林地管理についても、その管理ノウハウを広めていく。

担当課別行動計画

担当課名	土木課	
第一期末の状況	-	
事業目標量	1団体(第一期における目標値。第二期以降に再度検討する。)	
第二期事業量	平成26年度	民有樹林地における活動について検討
	平成27年度	民有樹林地における活動について検討
	平成28年度	民有樹林地における活動について検討
第三期以降	・穴澤天神社・よみうりランド北側緑地での活動を開始し継続。 ・組織化状況や活動状況を踏まえながら、実施箇所の追加を検討する。	
平成28年度事業報告		
事業目標	民有樹林地における活動について検討	
事業実績	自然環境保全審議会の協議会にて、公有樹林地管理ボランティアとあわせて検討した。	
担当課評価 (◎、○、△、×、-)	△	
評価理由	具体的な動きまでは至らなかったが、樹林地管理ボランティアの検討をすることができたため。	
今後の対応	具体的な活動に向け、先進事例の研究や活動エリアの選定等も含め、検討会を開催する。	

評価 (◎、○、△、×、-)	△やや評価できる(少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	<p>・第二期行動計画の最終年に際し、このプロジェクトは一旦ペンディングとしたのは、英断。公有樹林地での活動を先行し、ノウハウを蓄積し軌道に乗せてから、民有樹林地へ導入する手順は、理に適っている。</p> <p>・樹林地管理のボランティアを募ることの前提として、日頃より、森林浴の効用のPRと共に、「いなぎ観光案内人」による観光ウォーキング参加者にアプローチするプログラムが必要であろう。有機的に機能している他市への視察などは、行っているであろうか。</p> <p>・「樹林地管理ボランティアの人材育成・組織化、並びにその活動支援」の思いは理解できる。しかし、現実的にどのような方法で組織化するのか、或いは人材の育成を行うのが明白ではない。その為、具体的なイメージも拡散して、計画として検討段階の域から抜け出せないように思える。実現に向けて、詳細な計画立案、ロードマップづくりに向けてのご努力を期待する。</p> <p>・対人施策の実施が困難な事情は理解できるが、毎年度の目標が検討のみであり、しかも検討の結果が文書化された様子はない。これでは進捗を評価することができない。「どうしよう・どうしよう」という検討だけではなく、次年度につながるステップとして、「何が判り何が判らないか」「どのような方向性がありうるか」等のとりまとめは必要と考える。</p> <p>・具体的な進展はしていない。</p> <p>・おおよその方針が示された。今後の具体的な活動を期待する。</p> <p>・3年間検討されているので実際に動いてみては。</p> <p>・今後に向けての提案が生きるようなボランティアを得るためには全市民向けの広報の充実する方法がないかと思う。</p> <p>・先進事例や活動団体とのヒアリングを実施していく必要がある。現在活動しているかわからないが、横浜市栄区の「荒井沢市民の森愛護会」、青梅市の「西多摩自然フォーラム」等とコンタクトできないか。</p>

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-1 生態系や親水性に配慮した水辺空間の整備

施策の展開方針	・既成市街地内を流れる大丸用水を活用し、散策路の整備を行い、水と緑の歩行者空間のネットワーク化を進めます。整備を行う際は、身近な親水空間として生態系に配慮した護岸整備などを進めていきます。
担当課	土木課・区画整理課
対象施設など	菅堀・新堀・中野島用水堀
平成23年度末の状況	1,580m(大丸親水公園1,450m、田川130m)
10年間の目標	3,362mの整備
展開手法など	・菅堀は、第四次稲城市長期総合計画に基づきながら、生態系や親水性に配慮した親水公園の整備に努めます。 ・区画整理事業により整備される主要な用水について、生態系や親水性への配慮を事業計画に盛り込み、整備を進めていきます。
備考	・区画整理課は土地区画整理事業区域内を担当し、その他は土木課が担当する。

担当課別行動計画

担当課名	土木課	
第一期末の状況	大丸親水公園(1,450m)、田川(130m)	
事業目標量	菅堀(420m)	
第二期事業量	平成26年度	
	平成27年度	調査、基本設計
	平成28年度	詳細設計(150m)
第三期以降	詳細設計の継続、工事の実施	
平成28年度事業報告		
事業目標	詳細設計(150m)	
事業実績	菅堀150mの詳細設計を行った。	
担当課評価	○	
評価理由	予定通り事業が進んでいる。	
今後の対応	引き続き、事業進捗を図る。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<p>・通年で楽しめるウォークラリーのようなコースを設定し、いつでも、誰でも、トライすることが出来よう。記録用紙を提出すれば、年1回の集計により評価を受けることが出来るようにすれば、大丸用水を気軽に親しんでもらえよう。コースは、毎年変更するものとする。</p> <p>・「水と緑の歩行者空間のネットワーク化」を更に推進して頂きたい。今後の更なる展開に期待しております。</p> <p>・順を追って進められていることと思う。</p> <p>・予定通り事業が進んでいる。</p> <p>・計画通りに詳細設計が行われた。</p> <p>・生態系や親水性に配慮した親水公園の整備が着実な効果をどの位の期間でもたらすのか見守りたい。</p> <p>・完成したらぜひ見学したい。</p>	

担当課名	区画整理課	
第一期末の状況	田川水路(45m)、新堀水路(97.6m)	
事業目標量	新堀・中野島用水堀など(計1,242m)	
第二期事業量	平成26年度	
	平成27年度	
	平成28年度	
第三期以降	<ul style="list-style-type: none"> ・榎戸土地区画整理事業:公園通り梨の道線(400m)、清水川系(100m) ・矢野口駅周辺土地区画整理事業:3号水路(111m) ・稲城長沼駅周辺土地区画整理事業:新堀(75m) 	
平成28年度事業報告		
事業目標	-	
事業実績	-	
担当課評価	-	
評価理由	-	
今後の対応	-	

評価 (◎、○、△、×、-)	-未評価(当該年度は着手時期ではない)
平成28年度事業報告に対する意見	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-2 既成市街地での適切な公園配置方針の策定

施策の展開方針	・既成市街地で公園が少ない区域では、身近な緑の拠点づくりとして、適切な公園配置方針の策定を行います。
担当課	土木課
対象施設など	既成市街地
平成23年度末の状況	【新規】
10年間の目標	・第二期終了時点(平成28年度末)までに、公園配置方針を策定
展開手法など	・公園利用の実態などの不足状況の調査を実施し、まちづくりのあり方に合わせて、市民ニーズを踏まえた公園の配置方針を策定します。

担当課別行動計画

担当課名	土木課	
第一期末の状況	【第二期以降事業実施】	
事業目標量	第二期中に公園配置方針の作成	
第二期事業量	平成26年度	既成市街地での公園の不足状況の調査・把握
	平成27年度	既成市街地での適切な公園配置方針の策定
	平成28年度	
第三期以降		
平成28年度事業報告		
事業目標	-	
事業実績	既成市街地での適切な公園配置方針について検討した。	
担当課評価	△	
評価理由	既成市街地での適切な公園配置について検討したものの、配置方針の策定までには至らなかったため。	
今後の対応	生物多様性の確保等を配慮し、包括的な公園・緑地の配置方針を定める。	

評価 (◎、○、△、×、-)	△やや評価できる(少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	<p>・まとまった比較的広い公園の配置が難しいなら、積極的にポケットパークの設置を検討する段階に入ったと言えないだろうか。</p> <p>・「生物の多様性の確保等を配慮し、包括的な公園・緑地の配置方針を定める」とあるが、当初の施策の展開方針では「既成市街地での公園の少ない地域での公園配置方針を策定する」ことではないのか。既成市街地にどのような種類の公園・緑が、何処に、何ヶ所設けるべきである、その理由を明確に示すことが目的であり、「生物多様性」は大賛成であるが、ここで求められていることなのか。</p> <p>・前年の目標を継続して、しかも同じ自己評価が残るということは、「検討した」という内容が空白のまま継続しているということではないか。答が出なかった状況や、目標の設定に現実性がなかった可能性があること、そこから生じる残課題など、検討の結果をとりまとめておくことは必要で、仮に方針策定に至らない場合でも、それを年度成果にすることができる。このような報告がない中では「遅れ気味だが確実に進捗」という△評価をつけた担当課評価には同意しがたいというのが本音である。困難な課題を設定していることは理解できるが、困難な課題であるからこそ、できなかった場合にも次につながる結果を残して欲しいと考える。</p> <p>・既成市街地の中では、公園用地を確保しづらいので、既存の公園を中心に、市民が安全・安心して利用できることを優先して行うことでいいと思う。</p> <p>・いたずらに公園を配置されても、利用されないと意味がないので、熟考された計画が必要と思われる。</p> <p>・公園配置方針の策定に努力願う。</p>

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-3 借地公園制度の運用検討

施策の展開方針	・新たな公園整備が困難な場合、借地公園制度を活用し、借地による公園整備を行います。
担当課	土木課
対象施設など	一定基準を満たすちびっ子広場など
平成23年度末の状況	【新規】
10年間の目標	・4公園(下塚戸ちびっ子広場、ふれあいちびっ子広場、坂浜中央ちびっ子広場、なかよしちびっこ広場)(第一期)
展開手法など	・一定基準を満たすちびっ子広場などを利用して、借地による公園整備を行います。 ・既成市街地での適切な公園配置方針を踏まえ検討します。

担当課別行動計画

担当課名	土木課	
第一期末の状況	要綱設置、下塚戸の権利者・周辺住民との交渉	
事業目標量	・4公園(第一期) ・第二期以降は、地権者意向などを踏まえながら柔軟に対応していく。	
第二期事業量	平成26年度	・下塚戸の開園告示 ・ふれあいちびっ子広場・坂浜中央ちびっ子広場・なかよしちびっ子広場の借地公園適用の検討
	平成27年度	ふれあいちびっ子広場・坂浜中央ちびっ子広場・なかよしちびっ子広場の借地公園適用の検討
	平成28年度	坂浜中央ちびっ子広場・なかよしちびっ子広場の借地公園適用の検討
第三期以降	既成市街地での適切な公園配置方針(施策番号2-2)を踏まえて検討	
平成28年度事業報告		
事業目標	坂浜中央ちびっ子広場・なかよしちびっ子広場の借地公園適用の検討	
事業実績	坂浜中央ちびっ子広場・なかよしちびっ子広場を借地公園制度が適用できるか検討した。	
担当課評価	△	
評価理由	引き続き検討を行っているが、具体的な方針が示せないため。	
今後の対応	緑化基金の活用などを検討し、公有化できる具体的な方法を検討する。	

評価 (◎、○、△、×、-)	△やや評価できる(少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<p>・借地公園の適用はできなかったが、寄付を得られたので△とする。既成市街地においては公園用地を新たに取得することが難しいので、ちびっこ広場としてご協力いただいている土地をなるべく安定的に担保する目的で借地方式を検討している。最終的には公有化が望ましく、緑化基金の活用を見据えて、準備を進める時期に来ている。他の自治体が、緑化基金に相当するものをどの様な判断基準にのっとり、どの様な手順で活用しているのか、情報収集と解析は、土木課のこの事業にお願いしたい。まとまった民地が手放されるケースなどはスピード感が要求されるので、案件が出てからでは間に合わない。緑化基金以外にどのような取得方法があり得るのかも合わせてご検討願いたい。</p> <p>・ちびっ子広場が増加しているようだが、これらが一層有効なものとなり得るには、現在通学路の防犯カメラの設置が進んでいることを加速させ、広場がより一層安全なものとして認識を得られれば、施策が生きたものとなってこよう。</p> <p>・地権者等の意向もある中、果敢にちびっこ広場の設置に向けて検討している姿勢がうかがえるので、今後の展開に期待をしている。</p> <p>・相手のある事業なので、計画通りの進捗が困難な事情と、前年度に実績をつくられたことを評価した。ただし、元々の目標が借地公園制度の活用という、目標というより手段的な内容であったので、実績は次の行動の規範になりにくい。目標そのものの見直し(本来は公園確保が目標)を含め、今後の方向性検討は必要である。借地化という手法に注目されたことは評価できるので、ぜひとも1例は実現させていただきたい。</p> <p>・地権者の要因が大きいので、機会あるごとに地権者に働きかけるよう心がけることでいい。</p> <p>・借地公園適用制度の内容と地権者の考えや思いとの間に差があり、具体的な内容まで踏み込めないのであろうか。妥協できる部分を探ることも必要ではないか。</p> <p>・なかよしちびっ子広場では、大人のイベントにも使われるなど既成市街地であり利用されている。引き続き長く利用出来るよう方策をたてて欲しい。</p> <p>・借地公園制度が出来たことは評価出来る。今後の努力に期待する。</p>	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-4 身近な公園の再整備

施策の展開方針	・老朽化した身近な公園は、子どもから高齢者までが気持ちよく使い、楽しく魅力ある公園となるよう、整備内容や整備後の維持管理などについて、地域住民との協働による再整備を進めていきます。
担当課	土木課
対象施設など	街区公園など身近な公園
平成23年度末の状況	(随時実施している)
10年間の目標	点検調査結果、市民の声などを踏まえて、必要に応じて再整備
展開手法など	・再整備にあたっては、地域住民からなる検討会などとの協働による整備を進めます。 ・アダプト制度を活用した、地域住民による公園管理も視野に入れた公園の再整備に努めます。 ・再整備にあたっては、公園施設の点検結果などを踏まえて検討を進めます。

担当課別行動計画

担当課名	土木課	
第一期末の状況	7公園(矢野口2、押立1、向陽台1、長峰1、百村1、平尾1)	
事業目標量	点検調査結果、市民の声などを踏まえて、必要に応じて再整備	
第二期事業量	平成26年度	随時
	平成27年度	随時
	平成28年度	随時
第三期以降	随時	
平成28年度事業報告		
事業目標	随時	
事業実績	稲城中央公園(公園灯LED化)、平尾近隣公園(車止め等)、押立児童公園(フェンス撤去等)、百村入谷戸児童公園(フェンス補修)、押立カワマ堀公園(遊具設置)、平尾谷戸児童公園(手すり設置)、とんぼ池ちびっ子広場(施設補修)、上谷戸親水公園(排水設備設置等)、三谷児童公園(フェンス設置)	
担当課評価	○	
評価理由	限られた予算の中で、普段の点検や市民のニーズに応えながら整備を進めているため。	
今後の対応	引き続き再整備に努める。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	<p>・27年度において、『「随時』という表現は如何なものか』と問われているにも拘わらず改まっていないのは大いに問題である。更に、そのほかの部分に補足説明があるでもなく、担当課の自己評価が「○」は、疑問である。</p> <p>・限られた予算の中で、老朽化した公園を補修・再整備を継続していくことは、大変困難なミッションであり、使用側の地域住民・団体等にも行政と連動した更なる参加が望まれる。</p> <p>・ご担当はもとより行政の皆様のご努力に感謝する。</p> <p>・目標が「随時」のひと言だけでは、何をやっても○しか付けられないが、自己評価の書きぶりが、評価というより言い訳に近い内容であり、何か内的にはより高い目標を達成できなかった印象がある。このような内容を評価することは、PDCAを導入して効率的・効果的な推進を図る趣旨にそぐわない。また、実績についても、展開手法にそった説明をいただきたい。地域住民との検討会は何回開催され、アダプト制度の活用はどこまで検討できたのか、公園施設の点検で何がわかったのか、そういった報告があれば、実績の内容もよりよく理解できる。</p> <p>・公園の整備は、限られた予算の中で、よく行われていることが評価できる。</p> <p>・地域住民の方の意見を聞いた中、限られた予算の中で整備が進められ好感が持てる。</p> <p>・平尾近隣公園の車止めは安全性を高めることが出来た。平尾谷戸児童公園の手すりは、散歩コースとして市民に利用の多い場所での設置でニーズに応えられた。</p> <p>・継続を願っている。</p>

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-5 公共施設の緑化(屋上緑化、壁面緑化、校庭の芝生化、緑のカーテンなど)

施策の展開方針	・公共施設は、身近に緑を感じられる拠点として、緑豊かなまちづくりの先導的な役割を果たすよう、広がりと厚みを持った緑の創出に努めていきます。
担当課	教育総務課・指導課・子育て支援課・生涯学習課・市民協働課・健康課・市立病院管理課・図書館課
対象施設など	市所管全公共施設
平成23年度末の状況	・校庭の芝生化2校(第六小、長峰小) ・全小中学校17校で緑のカーテンを実施 ・保育園4園(第二、第三、第四、第五保育園)での花壇・緑のカーテン・菜園の実施 ・文化センター3館(中央、第二、第三)で緑のカーテンの実施 ・iプラザの屋上緑化 ・地域振興プラザの屋上緑化 ・稲城市健康プラザ及び稲城市立病院健診外来棟・立体駐車場の屋上緑化 ・城山体験学習館の屋上緑化
10年間の目標	・市立保育園、市立小中学校、文化センター、地域振興プラザ、市立病院、城山体験学習館などで緑化の充実
展開手法など	・既存施設では、緑化可能場所を対象に、屋上緑化、壁面緑化、校庭の芝生化、緑のカーテンなどの緑化を進め、既に整備済の箇所については維持に努めていきます。

担当課別行動計画

担当課名	教育総務課	
第一期末の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭の芝生化4校(第六小、長峰小、平尾小、二中) ・屋上緑化設計2校 	
事業目標量	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭の芝生化4校、屋上緑化2校 ・第三期以降は、次期行動計画策定時に検討します。 	
第二期事業量	平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生化した校庭の維持(6校:第六小、向陽台小、長峰小、平尾小、二中、四中) ・一小、南山小の屋上緑化(南山小は3-1に再掲)
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生化した校庭の維持(6校) ・屋上緑化の維持(2校)
	平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生化した校庭の維持(6校) ・屋上緑化の維持(2校)
第三期以降	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生化した校庭の維持(6校) ・屋上緑化の維持(2校) ・第三期行動計画策定時に追加を検討 	
平成28年度事業報告		
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生化した校庭の維持(6校) ・屋上緑化の維持(2校) 	
事業実績	校庭芝生、屋上の維持管理を行った。	
担当課評価	△	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭の芝生化 校庭芝生の維持管理にかかる費用、人員の確保が困難であるため。 ・屋上緑化 南山小学校は、学校が山に囲まれていることから、手入れをしても雑草の種が飛来し、根付いてしまったため。 	
今後の対応	引き続き屋上緑化、校庭芝生の維持管理を行っていく。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・多忙な教員に任せるのは困難であるなら、ボランティアによる緑の診断システムの構築を検討する必要がある。作業は学校にお願いすることになるが、見守り作業が極めて重要であろう。緑のカーテンがどのような品種であるかの記述がなく、年度によって差し替えているなどの記録が欲しい。 ・コスト面での制約等もあるようなので、「緑地可能場所」の見直しや屋上、壁面、緑のカーテン等手段について再検討を行い、現実に即したやるべき場所・時期・手段を明確化すべきではないかと思う。 ・事業報告を読むと、事業実績として「維持管理を行った」とあるのに、評価理由として十分な実績でなかったことの言い訳が書かれている。この間には、「これをやったが成果は不十分」という報告がある筈であるのに、書かれていないのはなぜか。これでは、報告だけを見た評価などできないことになる。実績報告欄ではなく、評価理由欄を読む限り、「遅れているが確実」という△評価は適正ではないと考える。 ・学校側の都合があるので、適宜、学校への啓発を図ることでよい。 ・芝生は施工することは容易だが維持管理は非常に難しい。昨今のヒートアイランドや真夏の長雨等も管理上悩ましい部分があるかと思う。地域差がないような管理をお願いしたい。 ・屋上緑化は見せる為ではないのなら、発想を変えて目的が緑化なら雑草でも良いのでは。維持管理もしやすい。 ・平尾小学校における芝生化もクローバーがかなり繁殖している。 ・芝生化が進んでいる事は評価出来る。維持管理には自治会等の活動団体と手が組めないか。 	

担当課名	指導課	
第一期末の状況	小中学校16校で緑のカーテンを実施(継続) ※3中が主要教育施策である持続発展教育(ESD)で養蜂に取り組む目的で、緑のカーテンの場所に梨の木を植樹したため実施していない。	
事業目標量	小中学校17校で緑のカーテンを実施(継続)	
第二期事業量	平成26年度	小中学校17校で緑のカーテンを実施(継続)
	平成27年度	小中学校17校で緑のカーテンを実施(継続)
	平成28年度	小中学校17校で緑のカーテンを実施(継続)
第三期以降	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校17校で緑のカーテンを実施(継続) 緑のカーテンを学校から地域へと広げることを検討 	
平成28年度事業報告		
事業目標	小中学校17校で緑のカーテンを実施(継続)	
事業実績	小中学校18校(既存の17校に南山小追加)にゴーヤの種を配布した。原則的に全校実施としているが、生育状況に差が生じている。(平均的な設置規模は24㎡)	
担当課評価	△	
評価理由	学校によって、生育状況に差が生じているため。	
今後の対応	適宜、学校への啓発を図る。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・多忙な教員に任せるのは困難であるなら、ボランティアによる緑の診断システムの構築を検討する必要がある。作業は学校にお願いすることになるが、見守り作業が極めて重要であろう。 ・3中の養蜂ESDの取り組みや生育状況に差が出てくることは、計画の運用上の止む得ないことであり、評価に反映させるべきではない合理的な理由と考えられる。更に可能な範囲で学校等の啓発に取り組んでいただきたい。 ・目標として毎年の事業実施を挙げ、その通り事業化されているのに、自己評価が△なのはどうか。結果的に生育状況に差があるとしても、事業は実施したのだから「遅れ」にはならないと考える。ただし、「種を配って見たらうまく育たなかった」では、やり放し事業としかいえない。毎年の経験がどう反省され、どう活かされることを目指すのか、それを報告していただきたいかった。 ・学校側の都合があるので、適宜、学校への啓発を図ることよい。 ・生育状況の差は、学校、あるいは担当者の「本気度」の問題だと思われる。緑のカーテン施工の根本的理由は夏の遮光、蒸散効果による周囲温度上昇の緩和によるエネルギー消費の減少効果であろう。子供たちの研究材料として、学生主体に管理を行い、様々なデータ収集ができれば継続する意味、価値が増すのではないか。 ・生育状況に差はあっても原則全校実施されている。平尾小学校では平尾団地の住人の有志が夏休み手入れをしている。このようなボランティアが継続的なボランティアに繋がるような働きかけの方法がないかと思う。例えば学校側からの積極的働きかけ。 ・緑のカーテンは実施出来ている。 	

担当課名	子育て支援課	
第一期末の状況	保育園4園(第二保育園、第三保育園、第四保育園、第五保育園)での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)	
事業目標量	保育園4園(第二保育園、第三保育園、第四保育園、第五保育園)での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)	
第二期事業量	平成26年度	保育園4園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)
	平成27年度	保育園4園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)
	平成28年度	保育園4園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)
第三期以降	保育園4園での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)	
平成28年度事業報告		
事業目標	公設公営3保育園(第三保育園、第四保育園、第五保育園)での花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続) ※第二保育園は平成27年度に民営化したため、対象から外している。	
事業実績	花壇・緑のカーテン・菜園栽培をし、目標を達成できた。(三保) 幼児クラスで、夏野菜を育てたくさん収穫した。(四保) 花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)。(五保)	
担当課評価 (◎、○、△、×、－)	○	
評価理由	エコな環境と美的環境を園児に提供できた。 園庭のプランターに夏野菜の苗を植えたり、アサガオの種を蒔いて網を這わせたりするなど工夫した。自分の手で作った野菜は緑を楽しむとともに食育にも繋がった。	
今後の対応	今後も引き続き継続していく。(三保) 夏野菜や植物を育てることで、子ども達が興味や関心がもてるようになるので継続する。(四保) 花壇・緑のカーテン・菜園の実施(継続)。(五保)	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<p>・野菜やアサガオなどの具体的な名称があり、概ね良好に進行している印象を受ける。</p> <p>・順調に進められているようにみられる。ただし、市直営の保育園では実績を挙げ、民営化した保育園はノータッチという姿勢には疑問がある。緑のカーテンは身近な緑化の第一歩であり、環境的にもすぐれた事業であり、園児の体験としても有効と思えるが、もし市職員なら対応してくれる事業が、民間で困難なのであれば、市職員に無理をさせている可能性も心配になる。二保に対して、提案や働きかけをしたのか。可能性があるあらゆる局面に挑むことも、より積極的な姿勢として評価できると考える。</p> <p>・保育園での実施状況が評価できる。</p> <p>・食育は良いテーマだと思う。現代においては野菜を育てて収穫するという行為は、子ども達をはじめ、子供を持つ親の方々や若い先生方の教育、知識の向上にもつながると思われ、継続して行っていただきたい。</p> <p>保育園では子供達が園庭で過ごす時間も長いので園児に良い影響が与えられている。フェンスのアサガオやミニトマトの緑のカーテンなど体感されていると感じる。</p> <p>・継続に期待する。</p>	

担当課名	生涯学習課	
第一期末の状況	文化センター3館(中央、第二、第三)で緑のカーテンの実施・iプラザ屋上緑化の実施(継続)	
事業目標量	文化センター5館(中央、第二、第三、第四、城山)で緑のカーテンの実施・屋上緑化の維持(継続)(iプラザ)	
第二期事業量	平成26年度	文化センター4館で緑のカーテンの実施(継続)・屋上緑化の維持(継続)(iプラザ)
	平成27年度	文化センター4館で緑のカーテンの実施(継続)・屋上緑化の維持(継続)(iプラザ)
	平成28年度	文化センター4館で緑のカーテンの実施(継続)・屋上緑化の維持(継続)(iプラザ)
第三期以降	文化センター4館で緑のカーテンの実施(継続)・屋上緑化の維持(継続)(iプラザ)	
平成28年度事業報告		
事業目標	文化センター4館で緑のカーテンの実施(継続)・屋上緑化の維持(継続)(iプラザ)	
事業実績	文化センター4館で緑のカーテンを実施・iプラザでは、屋上緑化を実施した。	
担当課評価 (◎、○、△、×、－)	○	
評価理由	各文化センターでは、緑のカーテンで直射日光を遮断することができた。	
今後の対応	施設の緑を維持できるよう、継続してメンテナンスを行う。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンがどのような品種であるかの記述がなく、年度によって差し替えているなどの記録が欲しい。 ・順調に進められているように拝見しました。多くの市民が直接利用する施設だけに、実施状況などを利用者に報告し、市民それぞれの取り組みを促すような広宣活動にも期待したい。 ・文化センターでの実施は評価できる。 ・屋上緑化は雑草も目的を達成するのでは。 ・現在の詳細状況は不明であるが、実施中とのこと。 	

担当課名	市民協働課	
第一期末の状況	地域振興プラザ屋上緑化の実施(継続)	
事業目標量	屋上緑化の維持(継続)	
第二期事業量	平成26年度	屋上緑化の維持(継続)
	平成27年度	屋上緑化の維持(継続)
	平成28年度	屋上緑化の維持(継続)
第三期以降	屋上緑化の維持(継続)	
平成28年度事業報告		
事業目標	屋上緑化の維持(継続)	
事業実績	地域振興プラザ屋上緑化の継続	
担当課評価 (◎、○、△、×、－)	○	
評価理由	維持管理に努めたため。	
今後の対応	現状の設備の範疇で引き続き緑化推進に取り組んでいく。 品種については当面セダム(※寒さや乾燥に強い)を継続していく。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・取り付く島のない報告である。前年度の「今後の対応」にある課題が、どうなったかが不明である。ご苦労もあろうから、そうした記述があっても良いのではないか。 ・順調に進められているようにみられる。多くの市民が直接利用する施設であり、事業対象が直接目に触れにくいだけに、実施状況などを利用者に報告し、市民それぞれの取り組みを促すような広宣活動にも期待したい。 ・屋上緑化は、引き続き維持していくことでいい。 ・現状の設備の範疇で管理を行っているということなので、今年の長雨での滞水が懸念される。 ・維持されることでの効果はある。 ・継続に期待する。 	

担当課名	健康課	
第一期末の状況	稲城市健康プラザ屋上緑化の実施(継続)	
事業目標量	屋上緑化の維持(継続)	
第二期事業量	平成26年度	屋上緑化の維持(継続)
	平成27年度	屋上緑化の維持(継続)
	平成28年度	屋上緑化の維持(継続)
第三期以降	屋上緑化の維持(継続)	
平成28年度事業報告		
事業目標	屋上緑化の維持(継続)	
事業実績	稲城市健康プラザの屋上緑化の状態を維持した。	
担当課評価 (◎、○、△、×、－)	○	
評価理由	屋上緑化面積・状態ともに現状維持であったため。	
今後の対応	更なる緑化(面積拡大・植物の育成)に向けて取り組む。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・取り付く島のない報告である。ご苦労もあろうから、そうした記述があっても良いのではなかろうか。 ・順調に進められているように拝見した。多くの市民が直接利用する施設であり、事業対象が直接目に触れにくいだけに、実施状況などを利用者に報告し、市民それぞれの取り組みを促すような広宣活動にも期待したい。 ・屋上緑化は、引き続き維持していくことでいい。 ・さらなる緑化を行い、屋上の様子などを会報や掲示板などで利用者に知っていただいてはどうか。 ・建設当初から確保されていた屋上緑化スペースは有効実施すべきだと思う。 ・継続に期待する。 	

担当課名	市立病院 管理課	
第一期末の状況	稲城市立病院健診外来棟・立体駐車場屋上緑化の実施(継続)	
事業目標量	屋上緑化の維持(継続)	
第二期事業量	平成26年度	屋上緑化の維持(継続)
	平成27年度	屋上緑化の維持(継続)
	平成28年度	屋上緑化の維持(継続)
第三期以降	屋上緑化の維持(継続)	
平成28年度事業報告		
事業目標	屋上緑化の維持(継続)	
事業実績	健診外来棟:リュウノヒゲ135㎡・立体駐車場屋上:アベリア、ツツジ、ハギ、ヤマブキ等150㎡	
担当課評価 (◎、○、△、×、-)	◎	
評価理由	緑化率の促進及び目で見ると安らぎに貢献している。	
今後の対応	継続維持管理をしていく。	

評価 (◎、○、△、×、-)	◎高く評価できる(目標を早期に達成できた、努力しているなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価において27年度は○で、28年度は◎であるが、どのあたりに向上があったのかも少し具体的に示して欲しい。ねじ花のその後はどうなったのであろうか。 ・順調に進められているように拝見しました。屋上緑化の対象の中では、市民の目に触れる場所であるので、広宣活動とその効果に期待する。 ・市立病院の屋上緑化の維持は評価できる。 ・本年度の作業状況が確認できなかったため○の評価とした。 ・屋上庭園は景観としても安らぎを与えている。 ・継続に期待する。 	

担当課名	図書館課	
第一期末の状況	城山体験学習館屋上緑化の実施(継続)	
事業目標量	屋上緑化の維持(継続)	
第二期事業量	平成26年度	屋上緑化の維持(継続)
	平成27年度	屋上緑化の維持(継続)
	平成28年度	屋上緑化の維持(継続)
第三期以降	屋上緑化の維持(継続)	
平成28年度事業報告		
事業目標	屋上緑化の維持(継続)	
事業実績	屋上緑化の維持(継続)	
担当課評価 (◎、○、△、×、-)	○	
評価理由	屋上緑化はPFI契約の要求水準において事業者側の業務(ライフサイクルコスト最小化のための方策として、屋上緑化による建物断熱性向上を図っている)であり、毎日管理されている。	
今後の対応	引き続きモニタリングにおいて、指摘等行っていく。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ご苦勞もあろうから、もう少し具体的な記述を求める。 ・順調に進められているようにみられる。多くの市民が直接利用する施設であり、事業対象が直接目に触れにくいだけに、実施状況などを利用者に報告し、市民それぞれの取り組みを促すような広宣活動にも期待したい。 ・城山体験学習館の屋上緑化の維持管理については、引き続き啓発を図ることいい。 ・昨年度の視察時には枯れが多くみられたと記憶している。事業内容は緑化の維持となっているためその後の植栽の様子は不明である。 ・今年は天候のせいか例年より繁殖状態が良くない。 ・継続に期待する。 	

2.身近な緑拠点づくりプロジェクト

2-6 自然樹形を感じさせる維持管理の検討

施策の展開方針	<ul style="list-style-type: none"> 道路は日常的に市民が利用する空間であり、道路の緑がもたらすイメージは緑の豊かさを感じるための主要な要素になっています。また、広がりと厚みを持った豊かな街路樹のある道路は、季節を感じることができます。 これからの街路樹は、それぞれの樹種の特徴を活かした自然樹形を感じさせる剪定手法や、美しい花を楽しめる剪定時期の採用など、維持管理手法を検討していきます。
担当課	土木課・管理課
対象施設など	<ul style="list-style-type: none"> 周辺への影響が少ない大規模な公園 周辺への影響が少ない路線
平成23年度末の状況	2路線(多摩川サイクリングロード、三沢川側道)
10年間の目標	5公園、8路線
展開手法など	<ul style="list-style-type: none"> 周辺への影響が少ない大規模な公園や市道を対象に、自然樹形を感じさせる樹木管理を行い、街に風格を与えるように努めます。 これらのために、緑の育成管理手法の検討、選定手法など維持管理手法の検討を行います。 都道は、東京都へ協力を要請します。

担当課別行動計画

担当課名	土木課	
第一期末の状況		
事業目標量	稲城中央公園、城山公園、若葉台公園、大丸公園、平尾近隣公園(5公園)	
第二期事業量	平成26年度	自然樹形を感じさせる育成管理の実施(5公園)
	平成27年度	継続
	平成28年度	継続
第三期以降	追加実施公園の検討	
平成28年度事業報告		
事業目標	継続	
事業実績	城山公園にて自然林再生事業を展開している。	
担当課評価 (◎、○、△、×、-)	△	
評価理由	城山公園以外の公園での事業展開ができていない。	
今後の対応	城山公園での事業は継続し、それ以外の公園でも事業展開ができるよう検討する。	

評価 (◎、○、△、×、-)	△やや評価できる(少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> 「展開手法など」の項目において、「緑の育成管理手法の検討、選定手法など維持管理手法の検討」とあるが、どこまで、どのように行ったのかが不明である。 自然樹形を感じさせる維持管理方法の検討は理念としては分からないことではない。しかし、現実的な課題として、計画に載せて問題を解決するテーマなのか、という疑問がある。自然樹形を感じさせるという情緒的な課題は、評価の基準がなく、何をもちて成功と言えるのか分からない。 事業報告は、何をやれて何がやれていないのか、具体内容を書いてほしい。これでは評価のしようがない。 自然樹形の管理と合わせて、立ち枯れによる倒木・落枝の除去に務める必要がある。 城山公園の自然林再生の事業内容はわからなかった。他の公園でも何らかの作業を行っていると思われるが不明であり、評価しづらい。 より多くの公園が自然樹形を感じられると、緑の豊かさをより実感出来る。 ぜひ、早めに実施出来る事を期待する。 	

担当課名	管理課	
第一期末の状況	2路線(多摩川サイクリングロード、三沢川側道)の適切な育成管理	
事業目標量	堅神社通り、iプラザふれあいロード、若葉台東櫨の木通り、若葉台西櫨の木通り、若葉台中央通り、若葉台公園西通り(6路線)	
第二期事業量	平成26年度	・現況2路線の適切な育成管理 ・自然樹形を感じさせる育成管理手法の検討
	平成27年度	自然樹形を感じさせる育成管理の実施(6路線)
	平成28年度	継続
第三期以降	追加実施路線の検討	
平成28年度事業報告		
事業目標	継続	
事業実績	現況6路線の適切な育成管理を行った。	
担当課評価 (◎、○、△、×、-)	△	
評価理由	道路管理者としての支障枝の剪定や、強剪定を実施し、自然樹形を感じさせる樹形は今後の課題。	
今後の対応	自然樹形を感じさせる育成管理手法の検討を行っていく。	

評価 (◎、○、△、×、-)	△やや評価できる(少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・自然樹形をそのままコンパクトにする剪定技術を稲城市は重視している、と念を押して発注をかければ、そんなに難しいことではないのでは。樹種によって花の咲く時期、その花芽の付く時期、剪定にふさわしいタイミングがあると思うので、専門家の意見を仰ぎ、年間スケジュールに組み込み、引き継いでいただきたい。既にデータがあるとしたら、市内の街路樹マップと組み合わせて広報誌などで公開すれば、市民の皆さんに興味を持って貰えるのではないか。 ・市民からの通報などの多い所管でご苦労も多いかと思うが、そうしたことを反映した今後の具体的な展開はないだろうか。 ・様々な制約のある街路樹で自然樹形(を想起させる姿)を実現するには困難が伴うと理解する。それをどのように目指すのか、一步ずつの検討や試行を記録していただきたいと思う。平成2年度から「実施」を目標とされたのであれば、何らかの課題や方向性を見いだしていたと思うが、もしそれが全く手つかずであるとしたら、具体方策なしの看板だけとなる。 ・たいへん費用がかかる事業なので、順次実施していくことでもいい。 ・様々な樹種があるが、ケヤキ、シラカシが多い。対象路線の街路樹は比較的小さな樹木が多く、管理はしやすいと思われる。基本的に大きくなった樹木については歩道、車道側の下枝に対する建築限界高が気になる部分であるが、それ以上の大枝については看板や信号がなければ強剪定の必要性は(長い剪定サイクルにしない限りは)あまりないと思われ、目標とする剪定は可能である。サイクリングロード、歩道に関しては利用者の安全性を考慮した上での施工は可能であり、自然樹形を感じさせる管理を行うことに問題があると思えず、他にできない理由があると思われる。 ・街の緑が豊かであるという第一印象に路線の自然樹形は関連してくるので、育成管理は重要。 ・自然樹形の中で支障枝の剪定出来ないか。 	

3.新市街地の緑創造プロジェクト

3-1 土地区画整理事業による公園・緑地の整備

施策の展開方針	・土地区画整理事業により、新市街地の整備とともに、計画的に配置された公園や緑地が整備されます。これらの公園・緑地の整備にあたり、積極的に広がりと厚みを持った緑を創出し、緑につつまれたまちづくりを進めます。また、植栽する樹木には、樹名板を設置して市民が親しみを持てるようにします。
担当課	区画整理課・市街地整備課
対象施設など	新たに設置される公園・緑地
平成23年度末の状況	-
10年間の目標	・公園19箇所(162,775㎡) ・緑地21箇所(83,604㎡)
展開手法など	・事業区域内の権利者や関係団体と協議し、緑の基本計画の考え方が反映されるように、整備内容の検討を進めます。

担当課別行動計画

担当課名	区画整理課	
第一期末の状況	【第三期以降施策実施】	
事業目標量	公園(6箇所)10,488㎡の整備	
第二期事業量	平成26年度	
	平成27年度	
	平成28年度	
第三期以降	<ul style="list-style-type: none"> ・榎戸土地区画整理事業：公園3箇所8,001㎡〔吉方公園、(仮称)矢野口公園、(仮称)円覚寺公園〕 ・矢野口駅周辺土地区画整理事業：公園2箇所1,958㎡(公園2号、4号) ・南多摩駅周辺土地区画整理事業：公園1箇所529㎡(3号公園) 	
平成28年度事業報告		
事業目標	-	
事業実績	南多摩駅周辺土地区画整理事業内3号公園着工	
担当課評価 (◎、○、△、×、-)	○	
評価理由	南多摩駅前広場に隣接する3号公園の工事に着手することができたため。	
今後の対応	平成29年度中に整備完了予定。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26～28年度の事業量の記載がない。着工できれば自己評価が○になってしまうのであろうか。 ・計画にどおり、確実に実行されていることがわかった。引き続きのご尽力を期待する。 ・年度別の目標がないので、評価のしようがないが、一步ずつ着実な進捗に期待する。 ・計画通り実施できた。 ・区画整理が進み、着手できた。 ・駅前広場に計画的に緑地や近隣の公園が整備されると豊かさを感じる。 ・区画整理事業の進捗に期待する。

担当課名	市街地整備課	
第一期末の状況	【第二期以降事業実施】	
事業目標量	<ul style="list-style-type: none"> ・公園(13箇所)152,287㎡の整備 ・緑地(21箇所)83,604㎡の整備 	
第二期事業量	平成26年度	
	平成27年度	・南山東部土地区画整理事業:緑地3箇所11,330㎡
	平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・南山東部土地区画整理事業:公園1箇所220㎡ ・上平尾土地区画整理事業:公園4箇所13,640㎡、緑地4箇所16,400㎡
第三期以降	<ul style="list-style-type: none"> ・南山東部土地区画整理事業:公園5箇所(130,247㎡)、緑地14箇所(55,874㎡) ・(仮称)小田良土地区画整理事業:公園3箇所(8,180㎡) 	
平成28年度事業報告		
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・南山東部土地区画整理事業:公園1箇所220㎡ ・上平尾土地区画整理事業:公園4箇所13,640㎡、緑地4箇所16,400㎡ 	
事業実績	上平尾土地区画整理事業:公園2箇所9,350㎡(三反田湧水公園、寺谷津公園)	
担当課評価 (◎、○、△、×、－)	△	
評価理由	地権者合意の状況などの影響により、土地区画整理事業の事業期間が当初の計画よりも延伸しているため、公園・緑地の整備時期もずれ込むことになるが、事業進捗が図られていることを考慮し、遅れ気味ではあるが確実に進んでいると評価した。	
今後の対応	公園1箇所(南山東部土地区画整理事業)は、第四期内の整備を予定。 公園2箇所、緑地4箇所(上平尾土地区画整理事業)は、第三期内の整備を予定。	

評価 (◎、○、△、×、－)	△やや評価できる(少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・南山東部土地区画整理事業内の公園については、環境アセスメントに沿った展開があると思われるが、その辺りの状況の説明は出てこないのでしょうか。 ・地権者と協議しながらの事業なので、拙速よりは着実なステップに期待する。土地区画整理事業の場合、時間はかかっても、着実な成果が期待できるので、遅れはあまり心配ない。自己評価が△であり、目標より遅れているのも事実であるため、当方の評価も△としたが、悪い評価とした訳ではない。 ・土地区画整理事業の実施状況に合わせて整備することでよい。 ・目標自体が数字のみで具体的な内容がわからないが、実績として上がってきている部分は目標全体のおおよそ30%であり、今後の計画に影響を与えることになると思われる。 ・三反田湧水公園は、夏、利用者が楽しんでいる様子が見られる。 ・相手があることであるから粘り強く進めてもらいたい。 	

3.新市街地の緑創造プロジェクト

3-2 公共施設の緑化(学校など)

施策の展開方針	・稲城市では、土地区画整理事業による新市街地の整備が進められています。新しく整備される市街地では、新たな公共施設の整備もされます。これらについて、積極的に広がりや厚みを持った緑を創出し、緑につつまれたまちづくりを進めます。
担当課	教育総務課
対象施設など	(仮称)南山小学校における屋上緑化などの緑の創出と維持
平成23年度末の状況	【新規】
10年間の目標	敷地内緑化及び屋上緑化などによる緑の創出と維持
展開手法など	・新設予定の(仮称)南山小学校について、屋上緑化などの緑の創出を進める。
備考	2-5に再掲

担当課別行動計画

担当課名	教育総務課	
第一期末の状況	(仮称)南山小学校における屋上緑化及び緑化基準を満たす実施設計	
事業目標量	(仮称)南山小学校における敷地内緑化及び屋上緑化などの緑の創出と維持	
第二期事業量	平成26年度	建設工事
	平成27年度	開校
	平成28年度	整備後の屋上緑化などの維持
第三期以降	・整備後の屋上緑化などの維持	
平成28年度事業報告		
事業目標	整備後の屋上緑化などの維持	
事業実績	屋上緑化及び学校敷地内緑化の維持管理を行った。	
担当課評価 (◎、○、△、×、－)	△	
評価理由	学校が山に囲まれていることから、手入れをしても雑草の種が飛来し、根付いてしまったため。	
今後の対応	引き続き学校敷地内緑化及び屋上緑化の維持管理を行っていく。	

評価 (◎、○、△、×、－)	△やや評価できる(少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・山に囲まれているためではなく、囲まれている造成地の雑草による影響があり、ご苦労なことと思う。他校もそうだが、植物に精通したボランティアの訪問を受け、アドバイスを受けるシステムを開始するのはどうであろう。 ・学校敷地内、屋上緑化に期待している。特に緑に囲まれた新しい小学校の緑化は、今後のモデルケースとして期待、注視したいと思う。 ・稲城市内では数少ない新設学校であるため、成果に期待する。ただし、雑草の種飛来が事実であるなら、同じことを続けても今後の進展に期待ができない。ここまでの経験をどう活かされるか、計画に変更の可能性があるかについても報告に取り入れて欲しかった。 ・引き続き維持管を行っていくことでよい。 ・植栽に利用する土壌に種や根の混入が無いことが前提だが、一般的には植栽苗の間隔が広いと他の種の侵入を許してしまい、年を追うごとに管理は非常に困難になる。 ・雑草も屋上緑化の目的が果たせるのではないか。 	

3.新市街地の緑創造プロジェクト

3-3 地区計画区域の拡充と緑化率条例の検討

施策の展開方針	・この10年間で整備完了が見込まれている南山東部土地区画整理事業・上平尾土地区画整理事業・(仮称)小田良土地区画整理事業では、適切に緑が確保され、良好な市街地が形成されるように、地区計画区域の拡充を図るとともに、緑化率などの導入について検討を進めていきます。
担当課	都市計画課
対象施設など	南山東部土地区画整理事業・上平尾土地区画整理事業・小田良土地区画整理事業、押立第一地区
平成23年度末の状況	【新規】
10年間の目標	3箇所145.9haの決定
展開手法など	・各土地区画整理事業区域において、地区計画の決定を行う。 ・地区計画の内容に、緑化率などの導入を盛り込むことを検討する。

担当課別行動計画

担当課名	都市計画課	
第一期末の状況	南山東部地区、平尾中央地区、上平尾地区地区計画の決定(約160.6ha)	
事業目標量	3箇所145.9haの決定	
第二期事業量	平成26年度	・(仮称)小田良土地区画整理事業に伴い計画されている地区計画区域(28.6ha)について緑化率などに関する規定を盛り込んだ地区計画の決定 ・押立第一土地区画整理事業に伴い計画されている地区計画区域(1.3ha)について緑化率などに関する規定を盛り込んだ地区計画の決定
	平成27年度	
	平成28年度	
第三期以降		
平成28年度事業報告		
事業目標	-	
事業実績	-	
担当課評価	-	
評価理由	-	
今後の対応	-	

評価 (◎、○、△、×、-)	-未評価(当該年度は着手時期ではない)
平成28年度事業報告に対する意見	

3.新市街地の緑創造プロジェクト

3-4 四季折々に楽しめる街路樹の整備

施策の展開方針	<ul style="list-style-type: none"> ・稲城市では、土地区画整理事業による新市街地の整備が進められています。新しく整備される市街地では、骨格となる道路に街路樹が整備されます。 ・街路樹の整備は、四季折々に花や紅葉が楽しめるなど季節を感じることのできる樹種を選ぶなど、緑を増やすだけではなく、暮らしにやすらぎをもたらすような工夫をして、緑につつまれたまちづくりを進めます。
担当課	区画整理課・市街地整備課
対象施設など	南多摩駅周辺土地区画整理事業、榎戸土地区画整理事業、矢野口駅周辺土地区画整理事業、稲城長沼駅周辺土地区画整理事業、南山東部土地区画整理事業、上平尾土地区画整理事業、(仮称)小田良土地区画整理事業
平成23年度末の状況	【新規】
10年間の目標	16路線(9,103.8m)
展開手法など	<ul style="list-style-type: none"> ・樹種や植栽パターンは、稲城市樹木花卉植栽計画及び地域住民の意見を反映します。

担当課別行動計画

担当課名	区画整理課	
第一期末の状況	【第二期以降事業実施】	
事業目標量	5路線(1,539m)の整備	
第二期事業量	平成26年度	
	平成27年度	南多摩駅周辺土地区画整理事業：矢野口大丸線(150m)
	平成28年度	
第三期以降	<ul style="list-style-type: none"> ・榎戸土地区画整理事業：宿榎戸線(380m)、公園通り梨の道線(630m) ・矢野口駅周辺土地区画整理事業：矢野口大丸線(119m) ・稲城長沼駅周辺土地区画整理事業：稲城長沼駅前通り線(260m) 	
平成28年度事業報告		
事業目標	-	
事業実績	-	
担当課評価	-	
評価理由	-	
今後の対応	-	

評価 (◎、○、△、×、-)	-未評価(当該年度は着手時期ではない)
平成28年度事業報告に対する意見	

担当課名	市街地整備課	
第一期末の状況	【第二期以降事業実施】	
事業目標量	14路線(7,564.8m)の整備	
第二期事業量	平成26年度	
	平成27年度	・南山東部土地区画整理事業:1路線(172m) ・上平尾土地区画整理事業:坂浜平尾線(488.3m)
	平成28年度	・南山東部土地区画整理事業:計3路線(計939m) ・上平尾土地区画整理事業:小田良上平尾線(684.5m) ・(仮称)小田良土地区画整理事業:坂浜平尾線(245m)
第三期以降	・南山東部土地区画整理事業:計6路線(計4,209m) ・(仮称)小田良土地区画整理事業:小田良上平尾線(710m)	
平成28年度事業報告		
事業目標	・南山東部土地区画整理事業:計3路線(計939m) ・上平尾土地区画整理事業:小田良上平尾線(684.5m) ・(仮称)小田良土地区画整理事業:坂浜平尾線(245m)	
事業実績	小田良上平尾線(上平尾土地区画整理事業):466m	
担当課評価 (◎、○、△、×、－)	△	
評価理由	地権者合意の状況などの影響により、土地区画整理事業の事業期間が当初の計画よりも延伸しているため、公園・緑地の整備時期もずれ込むことになるが、事業進捗が図られていることを考慮し、遅れ気味ではあるが確実に進んでいると評価した。	
今後の対応	3路線(南山東部土地区画整理事業)は、第三期内の整備を予定。 小田良上平尾線(上平尾土地区画整理事業)の残は、第三期内の整備を予定。 坂浜平尾線((仮称)小田良土地区画整理事業)は、第三期内の整備を予定。	

評価 (◎、○、△、×、－)	△やや評価できる(少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・街路にどのような樹木を植えるかは重要であろう。自然発生的に「○○(字名・地区名)イチョウ通り」などの呼称がつくような取り組みは必要ではないだろうか。 ・地権者と協議しながらの事業であるので、拙速よりは着実なステップに期待する。土地区画整理事業の場合、時間はかかっても、着実な成果が期待できるので、遅れはあまり心配はない。自己評価が△であり、目標より遅れているのも事実であるため、当方の評価も△としたが、悪い評価とした訳ではない。 ・土地区画区画整理事業に合わせて実施できた。 ・目標、実績共に数値ばかりではよくわからないが、実績を見る限りで目標のおおよそ25%程度の完成であると思われ、今後工期を圧迫すると思われる。 ・更なる努力に期待する。 	

4.駅前緑化プロジェクト

4-1 駅・駅前広場の緑化

施策の展開方針	・市街地内の南北分断や交通渋滞を解消するために、JR南武線の高架事業を進めています。高架事業の完了にあわせて、JR南武線の稲城長沼駅と南多摩駅には、駅前広場が整備されます。これから新しく整備される駅前広場は、緑を大切にしている稲城市民の気持ちが伝わるような、緑が豊かで心やすらぐ姿となるように広がりと厚みを持った緑の整備を進めていきます。
担当課	区画整理課
対象施設など	JR南武線 稲城長沼駅、南多摩駅の駅前広場の整備
平成23年度末の状況	【新規】
10年間の目標	稲城長沼駅・南多摩駅で緑豊かで心安らぐ駅前広場の整備
展開手法など	・事業区間内の地権者や関係団体と、緑豊かな駅前広場の整備内容について検討していきます。

担当課別行動計画

担当課名	区画整理課	
第一期末の状況	【第二期以降事業実施】	
事業目標量	JR南武線 稲城長沼駅、南多摩駅の駅前広場の整備	
第二期事業量	平成26年度	南多摩駅前広場(2,400㎡)
	平成27年度	
	平成28年度	
第三期以降	・整備計画の検討 ・稲城長沼駅前広場(4,400㎡)	
平成28年度事業報告		
事業目標	-	
事業実績	駅前広場工事完了	
担当課評価 (◎、○、△、×、-)	○	
評価理由	平成27年度及び平成28年度の二カ年で工事は計画通りに完了した。	
今後の対応	駅前広場の緑の維持管理に努めていく。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・27年度は暫定整備、28年度は本整備であったかと思慮されるが、その辺りの記録が見当たらない。 ・計画通りの進捗であるので、今後も地域のみなさまと連携して、駅前広場の整備により地域の発展に繋がることを期待している。 ・順調に進められている。 ・計画通りできたので評価できる。 ・南多摩駅前広場の工事が完了した。 ・植樹が成育すると、より豊かな印象になって来ると期待している。 ・維持管理に期待する。 	

5.市民活動の支援と育成プロジェクト

5-1 市民ボランティアの人材育成・組織化・活動支援

施策の展開方針	・人材の育成と組織化については、水と緑のまちづくりの地域リーダー、樹林地保全活動の指導者、自然観察の指導者、アダプト制度の参加者、公園でのプレイリーダーなど、活動の核となる人材の育成と、その組織化について取り組み、市民団体の知識や技術力向上のための支援、道具や資材などの活動支援について検討していきます。
担当課	土木課・市街地整備課
対象施設など	稲城中央公園・城山公園・若葉台公園・南山東部地区内の公園・緑地
平成23年度末の状況	【新規】
10年間の目標	・プレイリーダーによる公園運営の定着(稲城中央公園) ・樹林地管理ボランティアの活動の定着(稲城中央公園、城山公園)
展開手法など	・稲城中央公園の一部区域で、市民主体のプレイリーダーによる公園の運営を軌道にのせるために、市民とともに検討を進めていく。 ・城山公園・若葉台公園・南山東部地区内の公園・緑地で市民主体の樹林地の育成活動の展開を進め、樹林地管理ボランティア活動の定着を進めていく。

担当課別行動計画

担当課名	土木課	
第一期末の状況	-	
事業目標量	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイリーダーによる公園運営の定着(稲城中央公園) ・樹林地管理ボランティアの活動の定着(稲城中央公園、城山公園) 	
第二期事業量	平成26年度	人材育成・組織化・活動支援方策の検討
	平成27年度	・プレイリーダーの募集・育成と稲城中央公園(旧第二公園)でのプレイパークの検討
	平成28年度	・稲城中央公園(旧第二公園)でのプレイリーダー活動開始 ・樹林地ボランティアの人材育成・組織化・活動支援方策の検討
第三期以降	樹林地ボランティア参加者の呼びかけ、活動開始(稲城中央公園、城山公園)	
平成28年度事業報告		
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・稲城中央公園(旧第二公園)でのプレイリーダー活動開始 ・樹林地ボランティアの人材育成・組織化・活動支援方策の検討 	
事業実績	自然環境保全審議会の協議会にて、公有樹林地管理ボランティアの検討をした。	
担当課評価 (◎、○、△、×、-)	△	
評価理由	樹林地管理ボランティアのあり方について検討は行ったが、プレイリーダーに関しての検討ができなかったため。	
今後の対応	1-2の民有地樹林地管理ボランティアとあわせて、実施に向けた具体的な検討をする。	

評価 (◎、○、△、×、-)	△やや評価できる(少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に動き出すのを期待する。 ・市ホームページにおいて、「稲城中央公園・プレイリーダー」でヒットがなかったようである。27年度の評価意見においてもかなり厳しい意見が出ているようだが、この1年もほとんど前進していない印象である。プレイリーダーの育成、更に、樹林地ボランティアの育成は相当労力のいることであろうから引き続き熱意を持って取り組んで頂きたい。 ・実現に向けての、詳細な計画と策定可能なロードマップ作りの段階であるので、一層のご努力を期待している。 ・検討できたというボランティアのあり方について、結論が出ているのか不明。対人的な事業であり、困難な課題であることは理解しているが、結論のない検討だけであるなら、進捗を評価することができない。ボランティアは検討できて、プレイリーダーは検討できなかった、という検討の範囲ではなく、評価の対象となるのは、活動開始を目指してできなかったという点にある。与えられている選択肢は、△なら、「少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど」とある。確実に進んでいる状況が報告されていないので、そのままの評価を追認することができなかった。 ・協議会での検討が行われた。今後、具体的な事業展開に向けた取り組みが必要である。 ・稲城市内にある駒沢女子大学及び高校、若葉総合高校内にボランティア、プレイリーダーを育成するようなクラブはないだろうか。地元の学校内の実践の場として利用、発表できれば有意義なものとなる。更に他の地域を見渡すと近くには多くの大学があり、より可能性が広がると思われる。 ・どの年代層に樹林地管理ボランティアの中心を期待するのか。プレイリーダーも同様に、今までどのような活動をし、また希望を持っているか、背景にある活動に関心のある方達をどうしたら探し出せるか？関連のある団体に働きかけるのが有効としか思いつかない。 ・継続的に進めてほしい。 	

担当課名	市街地整備課	
第一期末の状況	南山東部地区内の公園の一部で公園づくりを実施、エリアマネジメント組織設立	
事業目標量	エリアマネジメント組織による公園づくり及び維持管理の検討(南山東部地区)	
第二期事業量	平成26年度	人材育成・樹林地管理の実践
	平成27年度	人材育成・樹林地管理の実践
	平成28年度	人材育成・樹林地管理の実践
第三期以降		
平成28年度事業報告		
事業目標	人材育成・樹林地管理の実践	
事業実績	南山東部土地区画事業区域における公園・緑地あり方検討会にて、公園・緑地のあり方について、市民、エリアマネージメント南山、市と協議中である。	
担当課評価 (◎、○、△、×、－)	△	
評価理由	現在、区画整理地区内で早期整備が可能な公園・緑地について、将来管理者と実施設計協議予定。将来管理者との協議を終え、平成28年度に目標としていた、早期整備可能な公園・緑地の現場着手を目指す。樹林地管理の人材育成については、引き続き実施していく。	
今後の対応	南山東部土地区画整理事業区域における公園・緑地あり方検討会で、多くの市民の声を反映できるよう事業を継続していく。	

評価 (◎、○、△、×、－)	△やや評価できる(少し遅れ気味だが、確実に進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページによると、平成27年度に2回ほどの建設環境委員会において「あり方検討会」が議題になっているようだがその後の状況がつかめない。 ・設定した目標が、毎年度「実践」とあるのでは、28年度の成果の評価は困難である。市民を含む関係者との協議が進行しているという報告を前提に、自己評価を尊重した△評価としたが、目標と結果について、より具体的な設定と報告を希望する。 ・地元の市民・団体と調整しながら進むことができた。 ・多くの公園や緑地のありかたを検討しても、具体的な内容や指針にまで及んでいないようである。樹林地管理は設計に基づき行われると思われるが、人材育成とは違う側面があると思う。 ・樹林地管理の人材育成に期待する。 	

5.市民活動の支援と育成プロジェクト

5-2 各種普及啓発活動の実施

施策の展開方針	・稲城市が管理する公共施設の植栽に樹名板を設置し、市民の緑への関心を高め、緑に対し理解を深めていく機会を増やしていきます。
担当課	土木課・管理課・指導課
対象施設など	公園・道路植栽・学校(小学校11校・中学校6校)
平成23年度末の状況	・大丸公園、稲城北緑地公園 ・三沢川側道(1路線) ・学校は、任意に設置
10年間の目標	・126公園 ・7路線 ・17校
展開手法など	・児童生徒や多くの市民の目につきやすい主要な部分から樹種の調査を行い、市民による手づくり樹名板などの設置の検討を行う。 ・その他、新たに整備される公園・道路では、主要な場所の植栽に樹名板を設置する。

担当課別行動計画

担当課名	土木課	
第一期末の状況	稲城中央公園(20本)、若葉台公園(10本)設置	
事業目標量	126公園	
第二期事業量	平成26年度	稲城中央公園、城山公園に設置
	平成27年度	若葉台公園、平尾近隣公園に設置
	平成28年度	大丸公園、大丸親水公園、上谷戸親水公園に設置
第三期以降	設置箇所を検討しながら随時設置	
平成28年度事業報告		
事業目標	大丸公園、大丸親水公園、上谷戸親水公園に設置	
事業実績	城山公園、さくら公園、砂見公園、稲城中央公園に設置	
担当課評価 (◎、○、△、×、-)	○	
評価理由	継続的に事業展開をしているため。	
今後の対応	引き続き市内の中学生の職場体験で樹名板の制作に取り組む。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・順調に進んでいるように思われますが、計画の最終KPIである「126公園・7路線・17校」のうち現時点における達成状況等の進捗をお示しいただけると分かりやすいと思う。 ・順調に進行していると理解して、自己評価を支持した。しかしながら、事業目標と事業実績に全く一致点がないことに疑問が生じる。目標公園で実施できない事情がわからないが、もし現実的に公園を選ばざるを得ない事情があるとしたら、目標設定の段階から、銘板数とか公園数、あるいは達成率パーセントとするとか、実行しやすく評価しやすい目標設定が必要かと思う。 ・継続的に実施していることが評価できる。 ・職場体験での樹名板制作は非常に意味があると思う。樹名だけでなく特徴などを簡潔に記載し、掲げる簡単な方法もあり、さらに自然に対する造詣が深くなるとともに地元に対する愛着が湧くのではないかと思う。 ・樹名板ではないが、平尾小学校周囲の道路の植栽に「子供達によって管理されている」と紹介した板があった。少しでも児童に関心を持たせられる活動だと思う。 ・解り易い樹名板を期待する。 	

担当課名	管理課	
第一期末の状況	-	
事業目標量	7路線	
第二期事業量	平成26年度	樹名板デザインの検討
	平成27年度	3路線
	平成28年度	4路線
第三期以降	追加路線の検討及び設置、必要に応じて更新	
平成28年度事業報告		
事業目標	4路線	
事業実績	なし	
担当課評価 (◎、○、△、×、-)	×	
評価理由	樹名板のデザインの研究ができなかった。	
今後の対応	樹名板デザインの研究。	

評価 (◎、○、△、×、-)	× 評価できない(まったく進んでいないなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・どういう理由で研究が進まなかったのかが不明である。3路線、4路線の意味するところも不明である。 ・今後のリカバリーに期待する。 ・統一的なデザインで樹名板を作成するとよい。 ・デザインは一律にせず、学生に考えていただいてはどうか。デザインが選ばれた学生を含め、プロセス自体が次世代に語り継げる内容となりうる。 ・樹名板はやろうと思えば直にも出来るのでは。 	

担当課名	指導課	
第一期末の状況	校長会において全校で統一した体裁にするか検討を行った。	
事業目標量	市立小中学校17校	
第二期事業量	平成26年度	2校に設置
	平成27年度	2校に設置
	平成28年度	2校に設置
第三期以降	調整の完了した学校から順次作成及び設置(年間2校程度)	
平成28年度事業報告		
事業目標	2校に設置	
事業実績	2校に設置(7小、1中)	
担当課評価 (◎、○、△、×、-)	○	
評価理由	2校に設置することができたため。	
今後の対応	適宜、取り組みを促していく。	

評価 (◎、○、△、×、-)	○ 評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・26年度から28年度まで、毎年2校ずつ設置とあるが、校名が不明である。 ・順調に進められた。 ・2校で実施できたことが評価できる。 ・2校に設置したとのこと。 	

5.市民活動の支援と育成プロジェクト

5-3 水と緑の情報収集・提供

施策の展開方針	・水と緑に関する情報を市民と行政が共有化し、より多くの市民自らが積極的に水と緑のまちづくりを進めていけるように、水と緑に関する情報の収集と提供に努めます。
担当課	土木課
対象施設など	市内全域
平成23年度末の状況	市ホームページによる情報提供
10年間の目標	・ホームページなどによる情報提供の充実 ・アダプト団体の交流の場の提供と活動の活発化による情報交換の促進
展開手法など	・指定管理者との連携を図り、市内各所の花の見所・時期、イベント情報などの公園・緑地の魅力を発信します。 ・アダプト制度による市民活動の活動報告の場の提供や各種活動団体同士の交流の場の提供などを検討します。

担当課別行動計画

担当課名	土木課	
第一期末の状況	市ホームページ【花の見ごろ情報(さくら情報・芝桜情報)・イベント情報(ホテルまつり・水辺の楽校)】	
事業目標量	・ホームページでは、市内の花の見どころ情報の充実、イベント情報の積極的発信	
第二期事業量	平成26年度	市ホームページの充実(継続)
	平成27年度	市ホームページの充実(継続)
	平成28年度	市ホームページの充実(継続)
第三期以降	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる情報提供の継続 ・水と緑の市民提供情報の活用方法の検討 ・アダプト団体間交流の活動促進 ・市民活動の活動報告の場の提供や各種活動団体同士の交流の場の提供について検討 	
平成28年度事業報告		
事業目標	市ホームページの充実(継続)	
事業実績	新規情報を随時更新している。	
担当課評価 (◎、○、△、×、－)	○	
評価理由	必要だと思われる情報を提供しているため。	
今後の対応	花の見ごろ情報やイベント情報に限らず、広報紙と連携して公園・緑地の魅力発信に努める。	

評価 (◎、○、△、×、－)	○評価できる(予定通りに事業が進んでいるなど)
平成28年度事業報告に対する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・確かに、市ホームページには四季折々の花の情報がアップされているが、報告としてはもう少し情報らしく詳細であって欲しい。 ・引き続き、内外への「水と緑の街づくり」を発信し、市の魅力アピールしていきましょう。 ・順調に進められている。ただし、広報活動・広宣事業には、これで終わりはない。より魅力的で具体性に富む情報発信に期待する。 ・継続して実施していることが評価できる。 ・イベントの発信が随時更新されている。 ・アダプト等の市民活動報告・各種団体との交流の場から樹林管理ボランティアの人材発掘・育成につなげられないか。 ・ホームページアクセスのしやすい様をお願いしたい。 	